

要請番号 (JL63618B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・ 2019/3 ・ 2019/2 ・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ・文化省

2) 配属機関名 (日本語)

ルワンダ・パラリンピック委員会

3) 任地 (南部県フイエ郡) JICA事務所の所在地 (キガリ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ルワンダ・パラリンピック委員会は、スポーツ競技を通して障害者の社会進出を目指す公的な団体である。首都のキガリに事務所があり、2001年に発足された。発足当時、シッティングバレーボールのチームは男性の4チームだけであったが、現在では国内に男性が10チーム、女性が8チームが所属している。フイエ郡だけでも男性の3チーム、女性の1チームが存在する。配属先の年間予算は48万5千米ドル。シッティングバレーボール以外にも、サッカー、バスケットボール、陸上競技など様々な障害者競技を支援している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ルワンダのシッティングバレーボールチームは、2016年のリオ・パラリンピックにアフリカ代表チームとして出場を果たしたが、世界との差は大きく、2020年の東京パラリンピックへの出場と活躍を目指し、更なる技術の向上が必要である。しかし、国内では指導者が不足しており、特に地方都市において選手を指導できる人材がいない。そのため、国内チームの集まるフイエ郡において活動し、選手と指導者の技術レベルの向上を図ることが求められている。また、ナショナルチームの強化トレーニングにおいてチームをサポートする事を目的としてJICAボランティアの要請がなされた。有望な選手の発掘、若い選手の育成も期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ルワンダ国のシッティングバレーボールの技術向上を目指し、以下の活動を実施する。
 1. フイエ郡内のシッティングバレーボールチーム、そして近隣のギサガラ郡内のチームの技術の向上のため指導を行う。
 2. 2020年の東京パラリンピックを目指し、ルワンダ・ナショナルチームの練習をサポートする。
 3. ルワンダ人コーチのレベル向上のために指導を行う。
 4. 競技大会やイベントでの運営サポートを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

屋外バレーボールコート1面、屋外バスケットボールコート1面、サッカーグラウンド

4) 配属先同僚及び活動対象者

フイエ郡チーム: コーチ2名、40代-50代、男性、コーチ経験3年
 フイエ郡チーム内訳: 2チーム各20名(男性)、1チーム11名(女性)

指導対象選手:16歳-40歳

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）2年以上 備考：技術指導を行う上で必要

[参考情報]：

- ・トレーニングメニューを組み立てられるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（13～30℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

- ・指導経験を証明する英文の証明書をルワンダ政府に提出する必要がある。
- ・JICAの判断により訓練言語をフランス語に変更する場合があります